

やってないのに、全員殺人犯。



冤罪青春グラフィティ

獄友ごくとも

8月4日(土)~8月10日(金)

〈1週間限定上映〉

8/4(土)~10(金)

10:00 ~ 12:05

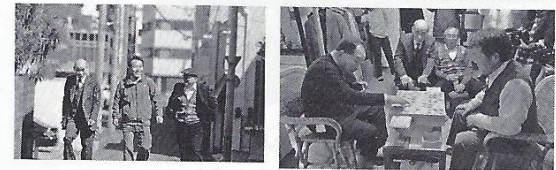
内に秘めた静かな怒り

「SAYAMA みえない手錠をはずすま
で」(※1)「袴田巖 夢の間の世の中」(※2)
と冤罪をテーマにしてきた金聖雄監督の最新
作は、なんと「冤罪青春グラフィティ」だとい
う。いわれない重い罪を着せられ、人生
のほとんどを獄中で過ごした5人の冤罪被害
者(※3)。彼らは釈放後、お互いの痛みを
一番わかり合える仲間として支えあつて過ご
してきた。本作では、彼ら「獄友」のつな
りと共に、それぞれの逮捕や自白を強要され
たいきさつ、獄中での時間が語られ、釈放後
の暮らしが描かれる。

冤罪で死刑や無期懲役の判決を受け、無実
だと声をあげてもなかなか認められない中で
の獄中生活はどんなものか。絶望という言葉
でも足りないのではないかと想像するが、そ
れでも朝が来れば、また刑務所での一日が始
まる。そして、それを語る彼らの言葉には不
思議なユーモアさえ漂うのだ。

前作と同様、金監督の彼らに寄り添う視線
の温かさが印象的だ。カメラを向けながら喜
怒哀楽を共にしているのが伝わってくる。そ
れだけに冤罪やそれを生む司法の闇への、内
に秘めた静かな怒りが胸に響いた。エンド
ロールに流れる主題歌「真実・事実・現実
あることないこと」(※4)もお聞き逃しなく。

(松井まゆみ)



※1…2014年8月シネ・ウインド上映。石川
一雄さん来館、舞台挨拶
※2…2016年7月同。金聖雄監督来館、舞台
挨拶

※3…

○桜井昌司さん・杉山卓男さん：1967年の「布
川事件」の強盗殺人犯とされ、29年の獄中生活後、
仮釈放、再審により2011年無罪確定

○菅家利和さん：1990年の「足利事件」の殺
人犯とされ、17年6カ月の獄中生活後、DNA
の再鑑定で無実が証明され釈放後、再審により
2010年無罪確定

○石川一雄さん：1963年の「狭山事件」の殺
人犯とされ、無期懲役が確定。31年7カ月の獄中
生活後、仮釈放。現在第三次再審請求中

○袴田巖さん：1966年の「袴田事件」で殺人
放火犯とされ、死刑確定。2014年静岡地裁で
再審決定され、48年ぶりに釈放。検察の即時抗告
を受け、本年6月東京高裁が再審開始取り消しの
決定をしたため、最高裁に特別抗告を行った

※4…金監督の三作品をきっかけに、冤罪で苦し
む人たちを歌で応援しようと、「冤罪音楽プロジェ
クトイノセンス」が立ち上がり、谷川俊太郎作詞
小室等作曲のこの曲には、本作の音楽を担当した
谷川賢作をはじめ27人のミュージシャンが参加し
ている。

2018年 日本 カラー (1時間55分)

配給 Kimoon Film

監督 金聖雄

プロデューサー 陣内直行

音楽・ピアノ 谷川賢作

出演 桜井昌司 杉山卓男 菅家利和

石川一雄 袴田巖

※DCP上映

©2017 Kimoon Film 映画「獄友」プロジェクト

獄中生活、5人合わせて155年!

月刊 ウインド 2018